

2020年6月23日

会長所信について

会長 白田 晃久

第3回理事会に当たり、所信を申し上げます。

第8回定時社員総会にて役員承認とその後の臨時理事会における会長の互選、副会長の専任が諮られ、この度新たな執行部体制が発足致しました。

これまで当会の礎を築かれてきた諸先輩方は、本理事会の運営を通して、当会の進むべき未来を信じ、大きな責任感の下に議論を重ねて参りました。そして、この間も社会福祉の援助を必要とする大分県民の生活と権利を擁護し、社会福祉に関する知識と技術の県民への普及・啓発を行うとともに社会福祉事業に携わる専門職員に対する技能の研鑽を行い、地域共生社会の実現を目指し、新たな執行部による理事会へと進むべき未来を引き渡してくれました。

1993（H5）年9月に任意団体として発足して以来、諸先輩方の歩みに心から敬意を表します。

会長就任のあいさつにも書き記しましたが、世界的な新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大は、私たち自身の生活をはじめとして私たちが支援する方々の生活も大きく様変わりしました。

そうした状況にあっても、諸先輩方から受け継いだ当会の発展は必ず守りぬき、それと同時に、新しい時代にふさわしい、当会の歴史を創り上げ、次の世代に引き渡していく。その責任を新しい役員の方々と共に果たしていきたいと思えます。

当会の目指す形、その理想をしっかりと掲げるとともに、第8回（通算19回）定時社員総会にて報告した2020年度事業計画を予め顧慮しながら以下を運営方針とし、当会の会員に対する支援と大分県民への社会福祉の向上に寄与する責任を共に果たしたいと思えます。

1.運営方針

- (1) 情報発信（ホームページ・メルマガ・SNS等の活用）の見直しと仕組みを充実
- (2) 学びを止めない環境を構築し、新たな「学び」と学びなおしの「場」と学びなおしの「機会」を確保する
- (3) 職能団体だけでなく、県内の様々な関係者とともに連携・協働して学びあえる活動の機会の提供
- (4) 興味、関心からはじまる会運営